

Wスリングの化学物質等安全データシートに関する報告

Wスリングは、ワイヤロープ(JIS 3525)をクレーン等安全規則及び労働安全衛生規則に則り加工した製品です。
Wスリングの加工方法は玉掛+プレミッシュ加工をし、その端末をアルミ管で加圧保護しています。
このワイヤロープの主な構成要素は硬鋼線材(炭素鋼)を原材料としています。

1. 製品及び会社情報

会社名 : 日興製鋼株式会社
住所 : 大阪府岸和田市山直中町七六一番地
電話番号 : 072-445-2898
FAX番号 : 072-445-2946
製品名 : Wスリング(玉掛索)《ワイヤロープ(JIS G 3525)加工品》

2. 組成・成分情報

構成・材料

素線 : 炭素鋼(硬鋼線材のSWRH 52A~82B)
表面被膜 : 生地または亜鉛メッキ(メッキタイプの加工品の場合)
芯線 : サイザル麻・ジュート麻・マニラ麻・綿糸等の天然繊維とポリプロピレン・ナイロン等の合繊繊維
ロープグリース : 赤ロープグリース
加工端末部 : アルミ合金

主な成分

素線

化学名	構造式	成分範囲(%)	CAS No.
鉄	Fe	残部	739-89-6
炭素	C	0.39~0.86	7440-44-0
ケイ素	Si	0.15~0.37	7440-21-3
マンガン	Mn	0.30~0.80	7439-96-5
リン	P	Max0.035	7723-14-0
硫黄	Si	Max0.035	7704-34-9

ロープグリース

単一品・混合物の区分	潤滑基油・ワックス・添加剤の混合物		
化学名	石油系炭化水素ほか		
成分及び含有量(質量%)	潤滑基油	35 ~ 45	
	ワックス	50 ~ 60	
	添加剤	約 5	
化学式又は構造式	特定できない		
国連分類・国連番号	引火性固体	クラス4	
労働安全衛生法(通知対象物)	鉱油	35 ~ 45%	
PRTR法(*)	該当しない		
(*)特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律			

アルミ合金

化学名	構造式	成分範囲(%)	CAS No.
アルミニウム	Al	残部	7429-90-5
ケイ素	Si	0.20以下	7440-21-3
鉄	Fe	0.40以下	739-89-6
銅	Cu	0.10以下	7440-50-8
マンガン	Mn	0.10以下	7439-96-5
マグネシウム	Mg	2.2~2.8	7439-95-4
クロム	Cr	0.15~0.35	7440-47-3
亜鉛	Zn	0.10以下	7440-66-6
チタン	Ti	-	7440-32-6

備考:

1. Cu・Mn・Cr が1wt.%以上の物質は労働安全衛生法に定める通知対象化学物質である。
2. Mn・Cr が1wt.%以上の物質は、PRTR法(環境汚染物質の排出・移動登録)に定める排出量、移動量を把握し届出する必要のある対象化学物質である。

3. 危険有害性の要約

一般的な環境下では、現在のところ影響はない。但し重量物のため転倒・転がり・荷崩れ等に十分な注意を要する。コイル製品の場合には結束(バンド)の切断時に、コイル端部が跳ね上がる可能性があるため安全に留意を要する。ロープの素線切れは、接触において怪我する恐れがある。

4. 応急措置

必要な応急措置の後、必要に応じて医師の診断を受ける。

(応急措置例) ① 皮膚に潤滑剤が付着した場合、石鹼を使い水でよく洗う。

② 目に当たった場合、水でよく洗い異常があれば医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

一般的な環境下では、現在のところ消火時の制約等に関する有用な情報はない。

但し、ワイヤロープの構成となる潤滑剤、天然繊維又は合成繊維及び包装材料は可燃性材料である。

可燃性材料は燃える時有害のヒューム、ガスが発生する場合は、大量な吸い込みを避けること。

消火において、防毒マスクと消防服を着用すること。消火剤(粉末消火剤・二酸化炭素消火剤)又は砂等を使用すること。

直接散水は避けること。周辺の火災において、通常の散水等の使用に制限はない。

6. 漏出時の措置

一般的な環境下では、固体で漏出しない。

7. 取扱保管上の注意

使用前の点検(形くずれ・断線・抜け出し・スリーブの変形や摩耗・腐食キズ)を行うこと。

ロープの素線切れによるけがに注意する。

長時間にわたってロープに付着している潤滑剤との接触は避けること。

ダストと潤滑剤は目と接触しないこと。

運送中において、製品を高い所から直接地面に落とすことは怪我に繋がる。

水濡れ、酸との接触、高温多湿の環境を避ける。

重量物の場合は落下等に注意する。

保管場所は平坦で乾燥した上屋根のある場所とする。荷崩れを生じる可能性があり危険である。

また、直射日光およびその他の熱や潮風を避ける場所でロープが直接地面に着かないように必ず枕木等を置いて隙間を(30cm以上)つくるようにすること。

酸やイオウガスに注意して、極力腐食やロープグリースの変質を防止すること。

一度使用したロープは、必ず表面に付着している砂、泥などを掃除した後、ロープグリースを塗布しておくこと。

8. 廃棄上の注意

ワイヤロープは有害な化学物質ではありません。(鋼材スクラップとしてリサイクルできる。)

9. 適用法規

クレーン等安全規則及び労働安全衛生規則(Wスリングは玉掛索です。)

10. その他

参考文献: 玉掛索の正しい取扱い方(日本鋼索工業会監修)

本化学物質等安全データシートは、現時点で入手できる資料、情報に基づいて作成しております。

弊社製品を取り扱う事業者は、科学的に安全な取り扱いを確保するための参考情報として提供されるもので、安全性の保証書ではありません。

取扱う事業者は用途・用法に適した安全対策を講ずることが必要であることをご理解のうえご活用願います。

日興製綱株式会社
大阪府岸和田市山直中町761